

海と緑をつなぐ① 沖田と浜崎



沖田から浜崎(津奈木川左手)は海であった。

沖田と呼んだのは古中尾の住人であつたらうか。海の彼方に造成された田圃のことである。

沖田は何回かにわたって干拓が進んだ。四季彩前の駐車場を第一期とすると、津奈木川を飛び渡り田圃を横切る小道を数えると、少くとも四回はある。この小道は海を締切った堤防が道になった。

まず、マッデンから四季彩駐車場への薩摩往還である。②千々岩英昭家(現郵便局)③津奈木保育園前④西川裕家(釜新聞店)津奈木駅いずれも薩摩往還につながる。

文化十三年(一八一六)、六車文太が数学測量の先生池部長十郎と

江戸時代の末となると、浜崎は中村の内浜崎村と上原村の内浜崎村とわけて呼ばれるようになっていた。美田のおかげで百姓が住めるようになったのであろう。字蔵迫は上原村に含まれていたから、現在の字浜崎と中村や上原村の内浜崎の境界を知る人は少ないと思われる。

浜崎の干拓の進み具合は、鉄道敷設で消えてしまった。僅かに成田正信宅西側の小道が残るだけ。津南保育園前も海であつたと松本武良氏が語ってくれた。そのほか海とかかわりのある塩釜さんの小祠が林家(トマト川向い駐車場)から移されて岡本警宅裏に祀られている。



スムーズな司会の野崎会長(左端)

自治公民館連絡協議会 モデル地区公民館決まる!!

平成八年度の公民館活動の方向と種々の行事を策定する、自治公民館連絡協議会が五月二十三日に行われました。鶴野教育長より

「上下門公民館」と「太泊公民館」の二館です。

地区公民館では、その地区の特色を生かし年間計画にのっとり、お互いの親睦と協力によって楽しい行事を実施しております。

モデル公民館になったことで負担に思わないで、公民館としての役割を十分ふまえて皆さんで盛り上げ、やって良かったと感じる感動あるものにしてほしいものです。



読書感想文 しろうさぎさんへ

津奈木小2年 よしざわ なお

を覚える。「ローマは一日にしてならず」、今日社会の多くのヒズミの中で老人として、何をなすべきかを考える機会でもある。

学習内容については楽しく寛容な心で、君は君、私は私、しかし仲良く私の信条学習に照し反省してみたい。

〔沢田 進記〕

しろうさぎさん、けつこんおめでと。まい日まい日

いっしょにすごしているくろうさぎさんとけつこんできて、ほんとうによかったですね。くろうさぎさんのかんがえていることがけつこんのことだから、ほつとしたでしょうね。

でも、

「いつまでも、いつまでも、いっしょにいたい。」

といわれたときは、どんなきもちがしたか。どきどきしましたか。それとも、いきもちでしたか。

わたしのがつこうにも、きのう、うさぎが、もらわれてきました。

それから、わたしのがつこうにも、あそびにきてください。

男の子と女の子だから、けつこんするとおもいます。あかちゃんも、うまれるとおもいます。とてもとても、たのしみです。しろうさぎさんとくろうさぎさんにも、はやく、あかちゃんうまれるといいですね。

そしたら、かぞくみんな、クロバーぐりや、ひなぎくどきができますね。わたしにも、そのあそびをおしえてください。そうしたら、がつこうのうさぎにも、おしえてあげます。たんぼも、たべさせてあげたいです。わたしも、いちどたんぼをたべてみたいです。どんなあじがするのかな。

それから、わたしのがつこうにも、あそびにきてください。



ここに、こんな人が...

音楽活動で 地域に貢献

西平 誠也さん(40)

(川内)

「まいづる太鼓」や「どんころすバンド」のメンバーとして活躍の西平さんは、いろいろな楽器をこなされる。和太鼓、笛、ピアノ、ギター、その時々の手で手にされるものが変わる。

西平さんは、水俣・津奈木森林組合にお勤めであるが、職場でも良いパートナーに恵まれ、もう一つの活動の



「むく工房」でのコンサート・西平さん(左)

午前六時、朝の微風に乗って、有線放送より「野バラ」の曲が流れてくる。「さあ、今日の始まりだ」と、神仏様の御世話と、弁当作りを手際よく片付ける。八時の時報と共に「恋は水色」の心優しい曲が「仕事始めだよ」と、ささやく様に聞こえてくる。種々の家事に午前中熱中する内に正午の「グリーンスリープス」の曲がゆるやかに耳をゆする。昼は一人居の気楽さからゆくり昼食をとり休養の時間帯である。テレビドラマの観賞、嫁姑の葛藤が実に生々しく演じられて一喜一憂する。

午後は買物を済ませ日課の散歩に出かける。一日一度の散歩が唯一の楽しみである。静かなすばら

チャイムは生活のバロメーター

白 浜 美和子

ムが鳴り響く。故郷の幼い頃を思い出させる曲の何と快いリズムだろうか。悲無く夕食が終わり、夕食後は私の勉強の時間である。若い頃、「長沢美津先生」より短歌の手ほどきを受けた事はあるが、此の度本町の文化活動で、短歌教室に入

い一念からである。

秀歌二〇〇選を手にとって「光」窓「音」と日常の思いを三十一文字に託す事の難しさ。色々読み更けている中に「エリーゼの為に」の曲が、夜のしじまを破って、静かに流れ、一日の終わりを告げる。思いおこせば、女学生時代、雨の日の事「雨天体操場」と、小使さんが五の鐘を鳴らしていたことを思い出す。今になってたまらなく女学生時代が懐かしく走馬燈の様に頭の中を駆け廻る。長い人生の中、楽しい事・悲しい事、人様々であるが「川の流れるように」「ケ・セラセラ」の信念を以て生きていけたらと思う今日この頃である。

チャイムと共に、チャイムを生活のバロメーターとして、規律正しく暮らしていきたい。「住みたくなる町」という町のキャッチフレーズのイメージをこわさないように、健康に清々しく生きていきたいものである。



赤崎小学校 〔愛校作業〕

本校は熊本県社会福祉協議会よりボランティア協力校として、平成七年度より九年度まで三年間指

短歌

宮崎 優選

摘みて来しよき煮ながら浮び来ぬ手織工場に父糸染めていし

西 滋子

朝な夕な居間にかけたる亡き夫の子科練服の白を寂しむ

白浜美和子

早春の野辺に生えたる石路のうぶ毛も白く軟かに伸ぶ

椎葉豊子

手折り来て壘にいたしバラの花一輪咲きて切るにしのべず

野田浦子

春やよい孫の拳式の晴れ姿胸熱くなり目がしら潤む

福田八重子

強く生け若者らしくたくましく今巢立ちゆく孫の末つ子よ

柳迫いづも

こがね草あらがう如き力もて草引く顔にはけ飛び散る

肥後狂句

寺本ツルヲ

蘇る命を願う病む鯉を流水口に近づけやりぬ

宮崎優

楽天家 あてこすり言つても気づかつさん

気にかかる 世界の窓を開いたまま

楽天家 先はどうにかきやなるが

気にかかる あん一言が多かった

達 生

楽天家 くよくよしても始まん

気にかかる えろうにつこりしな

はった

楽天家 金なら誰か持つとらす

気にかかる かかがつく言う

たが

〔次笠〕熱帯夜 やせらしか

一笠二句すつ八月十二日まで

つなき文化センターへ